

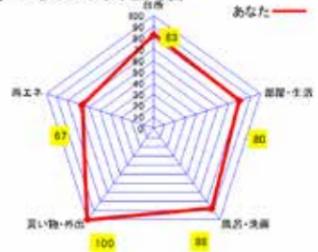
家庭向け 省エネ相談会を開催します!

大阪府地球温暖化防止活動推進センターでは、各地域で家庭向けの省エネ相談会を実施します。相談会では、大阪府地球温暖化防止活動推進員のうち、養成講座を受講した「省エネアドバイザー」が簡単なアンケートを元に「エコライフ診断書」を作成し、ご家庭でできる省エネのアドバイスをします。市町村の環境イベント等で開催予定ですので、ぜひご参加ください!

省エネ相談会の流れ

- 1 アンケート(20項目)&分かる人は光熱費に答えます。
- 2 PCにデータを入力すると「エコライフ診断書」ができます。
- 3 省エネアドバイザーが「エコライフ診断書」の説明をします。

【1】エコライフの取り組み度



★地域のイベント等で省エネ相談会してみませんか? 省エネ講座と組み合わせた相談会やオンライン相談会も実施予定です。

詳しくはこちら



お問い合わせ 地球温暖化防止活動推進センター (center@osaka-midori.jp)

気候変動に関する政府間パネル第6次評価報告書 第1作業部会報告書(自然科学的根拠)の公表

気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第54回総会及び同パネル第1作業部会(WG1)第4回会合が7月26日(月)から8月6日(金)にかけて開催され、IPCC第6次評価報告書(AR6)WG1報告書(自然科学的根拠)の政策決定者向け要約(SPM)が承認されるとともに、同報告書の本体等が受諾されました。

今回の報告では、はじめて「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」と言い切られるなど、地球温暖化に関する知見がさらに充実されています。

<http://www.env.go.jp/press/109850/116628.pdf>

池田泉州銀行SDGs私募債「絆ふかまる」を通じて 寄付金をいただきました【株式会社クロイワ様】

池田泉州銀行様では、私募債を発行される企業様から受け取る手数料の一部を拠出し、地域の学校、医療機関、公益な活動を行う法人等に寄付を行う「池田泉州銀行SDGs 私募債『絆ふかまる』」を取り扱われております。今回、その商品を通じて株式会社クロイワ様より大阪府みどり公社に寄付金をいただきました。ありがとうございました。



「えこっと」は地球環境を守るために、私たちの暮らしをちょこつと(少し)だけ、えーこと(良いこと: やさしい)、エコロジカルにしよう、大阪言葉を交えた意味を込めています。

編集・発行/大阪府地球温暖化防止活動推進センター
〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 一般財団法人大阪府みどり公社
TEL.06-6266-1271 FAX.06-6266-8665 <http://osaka-midori.jp/>
編集協力・印刷/株式会社ワイルハーツ
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町17-1 コンパノビル 2F
TEL.06-6378-9500 FAX.06-6378-9550 <http://www.w-hearts.jp/>



ゼロカーボンシティ 2050年の脱炭素社会を目指して

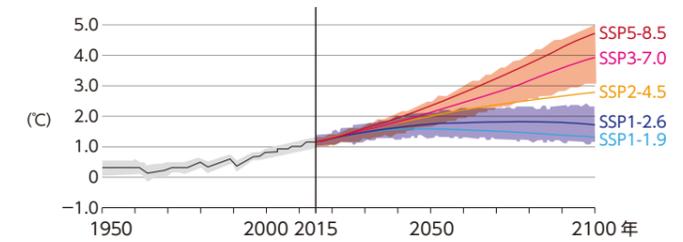
2050年ゼロカーボンをめざして

地球温暖化に加えて、豪雨や台風被害の増加など、深刻な気象災害が増加しており、まさに気候危機というべき状況です。対策を行わなければ、21世紀末には大阪の平均気温はさらに約4℃上昇し、猛暑日は年間約55日増加すると予測されています。

地球温暖化防止のためには、2050年ゼロカーボン(二酸化炭素排出実質ゼロ)をめざして、私たちみんなで行動を起こすことが必要です。特に、2030年までの10年間の取り組みが非常に重要です。

「ゼロカーボン」を実現するためには、エネルギーや資源の使用量の削減に加え、再生可能エネルギーなどのCO₂排出量が少ないエネルギーの選択を促進する必要があります。また、最終的にどうしても減らせないCO₂については、森林吸収などで相殺する必要があります。

世界平均気温の変化 (IPCC 第6次評価報告書より)



大阪府の取組み

大阪府は、2050年ゼロカーボンをめざすべく将来像に掲げた地球温暖化対策実行計画(区域施策編)を、令和3年3月に策定しました。この計画では、脱炭素社会の実現に向けて温暖化対策を加速していくべき重要な時期である、現在から2030年にむけて、府域の温室効果ガス排出量を2013年度比で40%削減する目標を掲げており、その対策として、以下の7つの取組項目を掲げています。

- 1 あらゆる主体の意識改革・行動喚起
- 2 事業者における脱炭素化に向けた取組促進
- 3 CO₂排出の少ないエネルギーの利用促進(再生可能エネルギーを含む)
- 4 輸送・移動における脱炭素化に向けた取組促進
- 5 資源循環の促進
- 6 森林吸収・緑化等の推進
- 7 気候変動適応の推進等

大阪府では、大阪府環境審議会温暖化対策部会において毎年、地球温暖化対策の取組状況等について点検・評価し、その結果をホームページ等で公表しています。

私たちが今できること

「あらゆる主体の意識改革・行動喚起」

- ・生活のあらゆる場面での省エネを徹底しましょう!
- ・照明、空調、給湯等家電買い替え時には省エネ性能の高いものを選択しましょう!
- ・住宅建て替えの際は、ZEH※1を導入しましょう!

「CO₂排出の少ないエネルギーの利用促進」

- ・自宅の電気を電力小売事業者の再生可能エネルギーを活用して、CO₂排出の少ない電力メニューへの切り替えを検討しましょう!
- ・太陽光パネルの設置を検討しましょう。自治体の共同購入事業も活用できます。

「輸送・移動における脱炭素化に向けた取組促進」

- ・公共交通機関の利用や自転車・徒歩により、自動車の利用を減らしましょう!
- ・自動車や自転車のシェアリングサービスを活用する方法もあります。
- ・車の購入の際には、電気自動車等のCO₂排出量が少ない自動車(ZEV※2)の選択に努めましょう!

電気自動車の電池を自宅の非常用電源として活用することも出来ます。

「資源循環の促進」

- ・プラスチックごみを削減するため、マイバッグ、マイボトルなどの携帯や使用に努めましょう!
- ・食品ロス削減のため、食品の期限表示や正しい保存方法の理解、適量の買い物、無駄のない調理等に取組みましょう!

2050年ゼロカーボンをめざして、できることから始めてみませんか。

※1くわしくはP3「えこ町奉行」を参照ください。
※2 ゼロエミッション車 (Zero Emission Vehicle) の略で、電気自動車、プラグイン・ハイブリッド車、燃料電池自動車のこと。
大阪府HP「大阪府地球温暖化対策実行計画(区域施策編)」(https://www.pref.osaka.lg.jp/chikyukankyo/jigyotopage/27_3keikaku.html)を参考に作成

2021年9月11日 大阪府民の森 イベント情報

<p>クライミング体験講習会</p> <p>【期間】9月12日(日) 【時間】13:00~15:30 【定員】20名(小学4年生以上) 【場所】府民の森ほしだ園地(交野市) 【集合】ほしだ園地ピトンの小屋 【料金】3000円 【申込】一か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 高さ16.5mの本格的なクライミングウォールに挑戦(初心者歓迎)どなたでも気軽に楽しめます。</p>	<p>野鳥観察会</p> <p>【期間】9月20日(月祝) 【時間】10:00~12:00 【場所】府民の森ちはや園地(南河内郡千早赤阪村) 【集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】500円 【定員】30人 【申込】1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。 初心者のための野鳥観察入門。双眼鏡の使い方から始めます。</p>	<p>クライミングフェスティバル2021</p> <p>【期間】10月17日(日) 【時間】9:30~16:00 【場所】府民の森ほしだ園地(交野市) 【料金】体験クライミング2500円 クラフト500円 【集合】ほしだ園地わんぱく広場 【申込】体験クライミングは1か月前から大阪府民の森HPより申し込む。その他クラフトは当日現地受付 高さ16.5mの本格的なクライミングウォールに挑戦(初心者歓迎)や誰でも気軽に楽しめるクライミング体験コーナーや自然素材を使ったクラフトを楽しむ。オカリナの野外コンサートも実施予定。</p>	<p>森のおもちゃづくり</p> <p>【期間】11月7日(日) 【時間】13:00~14:00 【定員】20名 【場所・集合】ちはや星と自然のミュージアム 【料金】500円 【申込】大阪府民の森HPより申し込む。 木の実などを使って、かわいい森のおもちゃをつくりまします。</p>
--	--	--	--

※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により中止又は順延する場合があります。

えこっと OSAKA にご意見をお寄せください。

ご家庭や会社で取組んでいるエコ活動や、身近で地球温暖化防止に役立っている商品、設備、施設等ありましたら教えてください。その他、本紙の感想や取り上げてほしい特集なども、右のQRコード、または下記のHPよりお寄せください。みなさんのご意見・ご感想お待ちしております!

ご意見はこちらから <https://goo.gl/aZVbQn>

えこっと OSAKA を購読しませんか?

継続して購読されたい方は、1期(年3回発行)送付分の切手、84円3枚を添えて、郵便番号、住所、氏名、電話番号、何号分を送付をご希望かを記入のうえ、大阪府地球温暖化防止活動推進センターまで郵送にてお送りください。

●あて先 〒541-0054 大阪市中央区南本町2-1-8 大阪府地球温暖化防止活動推進センター 近隣の市町村(環境担当部署)、消費生活センター、図書館、府民情報プラザなどでも配布しております。

えこっと OSAKA は、カーボンオフセット付の環境にやさしい情報紙です。本紙は1部あたり10.2gのCO₂(ライフサイクル)を排出しますが、これを大阪府域において実施された森林吸収(間伐促進型プロジェクト)で創出されたクレジットでオフセットしています。



みんな電力株式会社 みんなの力で、あらゆる社会課題を解決する

「コンセントの向こう側」知っていますか？

皆さんは普段使っている電気を誰が、どのように作っているか考えたことがありますか？みんな電力株式会社さんは「誰がどのように作っているか」をオープンにし、環境にやさしい電気を供給しています。そんな「コンセントの向こう側」を考える取組を特集します。

今回ご協力いただいたのは、みんな電力株式会社、社長室 広報担当の中村 麻季さん。オンラインでのインタビューに快く応えてくださいました。

編：えこっと OSAKA 編集班
中：みんな電力（株）・中村さん

誰が作っているかわかる電気

編) ゼロカーボン達成のために必要不可欠な再生可能エネルギーを扱う企業として、どのような社会貢献を目指されていますでしょうか。

中) 弊社は「コンセントの向こう側について考えてみませんか？」という問いかけを大切にしています。私たちが毎日使っている電気は、必ずどこかの発電所でつくり、自宅やオフィスに届けられています。弊社は皆さんが使う電気は誰がどのようにつくっているかをオープンにして選択できる仕組みを作ること、「納得感を持って自ら選択する人」が増えていくことを目指しています。

編) 御社の「企業としての取組み」をお聞かせください。

中) 太陽光、風力、水力、バイオマスなど、全国約500カ所の再生可能エネルギー発電所から電力を仕入れ、発電者の顔やストーリーをホームページなどで公開しています。発電者の思いと共に、「顔の見える電力™」として販売しています。大手電力会社と契約することが当たり前であった電力市場において、弊社は「発電者とつながり、環境にやさしい再生可能エネルギーを納得感を持って選ぶ」という体験を価値化し、社会にお届けしていきたいと考えています。

編) 再生可能エネルギー事業に取り組むようになった「きっかけ」はなんですか？

中) 代表取締役 大石が前職時代、地下鉄で携帯電話の充電が切れそうだったところ、前に座っていた方がポータブルソーラー充電器をカバンにつけているのを見かけ、「それでつくった電気を買えたらいいのに」と思ったことがきっかけです。「誰でも電気がつくって、しかもつくった人の顔が分かたら面白い。さらに誰でも電気を販売できる社会をつくれれば、富の分散につながるのではないか」という思いから、弊社は2011年に創業しました。

気軽にアクション出来る仕組みづくり

編) 「環境への取組み」で「活動してよかったこと」や「難しかったこと」がございましたら、お聞かせください。

中) よかったことは再生可能エネルギーを通じて、電力供給だけにとどまらない「つながり」が生まれていることです。みんな電力が立地する世田谷区では、弊社の電力トレーサビリティシステムを活用いただき、2017年から区内の45の保育園や児童館において、長野県が運営する水力発電所で作られた電力を利用しています。弊社を通じた電力供給がきっかけとなり、長野県職員の方がマスコットキャラクター・アルクマと一緒に世田谷区の保育園を訪問するなど、発電者と需要家の温かなつながりが生まれました。また、2019年から横浜市再生可能エネルギー活用戦略の一つである「東北12町村との連結協定」に関連して、神奈川県横浜市内の企業が弊社を通じて、青森県横浜町、岩手県軽米町、秋田県八峰町の風力で作った電力を利用しています。このつながり

りをきっかけに、横浜市内のマルイファミリー溝口、マルイシティ横浜、横浜市役所で東北地方の物産展を行うなど、地域交流が生まれています。難しいと感じていることは、どうしてもより多くの方に再生可能エネルギーに関心を持っていただけるかという点です。自然災害や猛暑の影響もあり、人々の環境問題に対する意識は高まってきていると考えていますが、「よし、じゃあ電気を切り替えよう」と共感して行動してもらうにはまだまだ難しさを感じています。弊社の場合は、説教くさくさならず、気軽にアクションできるような仕組みをつくることに注力しています。例えば、資本業務提携を結び丸井グループとエポスカード会員を対象にした再生可能エネルギー100%の電力プラン「エポスプラン」を開始しました。両社で契約に必要なお客さま情報を連携することで、契約手続きを約1分で完了できるほか、毎月の電気料金の0.5%を森林保全活動に寄付することが出来るプランです。一人ひとりが再生可能エネルギーに関心を持っていただけるように尽力していきたいと思っています。

編) 「今後の取組み」や「読者の方へのメッセージ」をお聞かせください。

中) 全国地球温暖化防止活動推進センターによると、家庭から出る二酸化炭素の約半分は電気によるものです*1。弊社は一人ひとりの再生可能エネルギーへの切り替えは、気候変動の解決に大きなインパクトがあると考えており、気軽に楽しんでアクションができるような仕組みをつくることで、個人の行動が大きな影響を生むことを実践していきたいと考えています。ぜひ皆さんも「コンセントの向こう側」を少しだけ考えてみませんか？

みんな電力株式会社様は、東京の企業ではありますが、活動範囲は全国*2です。大阪府・大阪市とは「再生可能エネルギー調達マッチング事業」*3を支援されているなど、電気を作る事業者さんや協賛する企業や個人の「みんなで再生可能エネルギーで脱炭素化」という大きな目標を掲げ、活動されています。皆さんも一度電気の切り替えについて考えてみてはいかがでしょうか。



*1 JCCCA ホームページ (https://www.jccca.org/download/13337?p_page=2#search) を参考にして作成
*2 個人のお客さまは、北海道、北陸、沖縄エリアを除きます。
*3 大阪府ホームページ (https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/circulation/index.html) より

*https://www.pref.osaka.lg.jp/eneseisaku/sec/r1zehtaiken.html